



## 1 北海道紋別市

- ・視察者 安藤和俊 中島慎一郎 堀越博文 米山真澄
- ・視察場所 紋別市役所
- ・視察日時 令和6年5月22日(水) 午後2時から午後4時
- ・視察項目 スポーツ合宿誘致事業について
- ・説明員 紋別市教育委員会 スポーツ振興課課長 益田 好仁 氏  
紋別市教育委員会 スポーツ振興支援員 佐賀 孝一 氏

### ・視察目的

市が保有するスポーツ施設の有効利用、スポーツに関わる優秀なチームを誘致することによる地域活性化、誘致団体とのスポーツ教室を通じて児童生徒の技術力向上など、スポーツに関わる市民のモチベーション向上に繋がる取組を視察する。

### ・要旨(報告事項)

スポーツ合宿誘致事業は、平成2年度から実施している。助成に関わる要綱は、平成11年4月27日に制定し、現在に至る。助成の交付対象となる合宿は、

- (1) 合宿が市内の施設を利用して実施されること
- (2) 合宿期間中、市内の宿泊施設に3泊以上宿泊すること
- (3) 合宿に参加するものが10名以上であること

の要件をすべて満たすものとする。

### 助成内容

- |          |                  |      |        |
|----------|------------------|------|--------|
| (1) 宿泊助成 | ア 全日本            | 1人1泊 | 2,500円 |
|          | イ その他(小中高・大学・一般) | 1人1泊 | 2,000円 |

### (2) 交通費助成

#### ア 航空運賃助成

紋別発着の航空機(紋別⇄羽田)を利用した場合は、1人につき片道利用は15,000円、往復利用は20,000円を助成する。

#### イ その他の助成

関東圏以外の団体には、航空機助成の他に東京までの交通費として片道運賃の1/2以内(10,000円限度)が加算される。

(3) 市内移動経費助成

合宿中の市内移動に使用する車両の使用料は、紋別市が支払う。

(4) 講習会開催助成

合宿中に市民対象の講習会を開催した場合 30,000 円を助成する。

(小・中・高校向けスポーツ教室など)

(5) 助成範囲

助成額の上限は 1 団体につき助成総額 1,200,000 円以内。

(6) 支援団体助成

合宿を支援する市内の団体に、経費の一部を助成する。

団体 1 名に対して 3,000 円とし、支援団体総額 100,000 円を限度とする。

スポーツ合宿誘致事業に関わる本年度の年間予算は、39,369 千円を計上している。項目としては、団体補助金 29,846 千円、人件費 5,273 千円が主なもの。

事業の効果として、駅伝などでテレビに写る選手たちが早朝に街をジョギングする姿に接することで、子どもたちにとって地元への愛着につながり、スポーツに関わる市民へのモチベーション向上につながっている。費用対効果については、コロナ期間を除き、年間 30 団体前後、約 600 人の受け入れを行っており、延べ人数にして約 5,000 人となる。このことによる経済波及額は約 1 億円と推測している。また、本事業は平成 11 年に開港した新紋別空港の東京直行便の搭乗率向上の一助をなしており、直行便の安定的運行により、周辺自治体 1 市 3 町 1 村で運営している広域紋別病院における、関東方面からの医療関係者招致にも寄与している。

・視察結果・所感

このスポーツ合宿誘致事業がオホーツク紋別空港の維持のための重大な事業の一つであると感じた。東京直行便があることで、観光、産業活動にとって無くてはならない重要な空港となっている。当市としても一つの事業だけではなく、複数の事業が上手く支え合い、市の発展に寄与できるような施策や事業を考える必要があると感じた。

## 2 北海道北見市

- ・視察者 安藤和俊 中島慎一郎 堀越博文 米山真澄
- ・視察場所 北見市役所
- ・視察日時 令和6年5月23日(木) 午前10時から正午
- ・視察項目 書かないワンストップ窓口について
- ・説明員 市民環境部 窓口課 課長 高久 直美 氏

### ・視察目的

市民が市役所を訪れる大半の理由は、各種証明書の発行、転居時、身近な人が亡くなった時である。こうした時に、ワンストップでなく各課を回って手続きするのが課題である。北見市は、その分野で先進市であり、視察することで学ばせていただく。

### ・要旨(報告事項)

北見市人口約11万人。面積では全国4番目、道内1番の広さ。令和5年度日本DX賞優秀賞受賞。

昔から役所の手続きは面倒…ここから始まった。

#### 1. 住民の使い易さ、職員の業務効率化から。

職員提案募集及び新人職員の窓口体験(住民票・印鑑証明請求)から。

記載台を捜す。申請書を捜す。→提出→修正説明→訂正→が改善へ。

#### 2. 予算を掛けずに面倒を解消するためにできること…カッティングボードの色分けをして看板に。課名でなく「手続き内容」を表記。

#### 3. 証明申請書の統合化=各種申請書の保存年限が違う。

(つまり、長い期間のものに合わせる)

「手続きチェックシート」分野→条件→手続きへ

申請書様式の標準化。アナログからDXのXへ

➡ トランスフォーメーションの方が大事。

本人確認あり。認印の省略。

4. ここでデジタル登場。受付ー処理ー審査。ICT の活用を。

窓口支援システムの独自開発。

窓口は1か所にする→受付時間削減効果、住民及び職員の短時間化。

職員は専門業務に専念できる。

ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA) …画面で受付

本庁舎 100~200 件対応 / 1 日。

5. ワンストップ

1) 証明書類

2) ライフイベント(7~8割受付)

3) 個別手続き(国保など)

新人職員向けガイダンス機能あり→2カ月でマスター可能

4) 窓口を型へ

1) ワンフロア型 2) 人海戦術型 3) スーパーマン型 4) システム活用型

残る課題は、生活保護者の住所変更

おくやみワンストップ~事前に予約。死亡証明書提出と同時に、システム活用。

慰労の言葉⇔職員のモチベーションに。

6. 今自治体に求められていること

仕事の手順ややり方を変える創意工夫⇒DXのX部分。

システム導入が目的でなく、アナログの改善、議論。→業務改革。

利用者の視点から考える…職員も業務や仕組みの利用者という観点が大切。

窓口業務は情報処理であるが帰結。

自治体の自助努力も必要。⇔窓口&窓口利用者は今後も無くならない。

誰一人取り残さない。

・現時点のシステムは、互いの議会事務局でやり取り。→データ送信してもらう。

・北見システム導入自治体→全国36自治体。鹿児島市、浜松市、深谷市など。

- ・視察結果・所感

この北見市のシステムは素晴らしいけれど、東松山市にそのまま導入するわけにはいかないし、してはいけない。手順をしっかりと踏んで東松山市らしさを加えなくてはならない。職員が先ず今の東松山市のシステムの弊害を認識し、解決するにはどうしたらいいかを考える。利用者(市民)にも、普段サービスを受けている中で、不都合な点を指摘してもらい、改善に活かす。その手段として、北見市のシステム、仕組みを利用できるものを参考にすることが大切である。まさに「手段」と「目的」を履き違えたり、ごちゃ混ぜにしないことが求められていると感じた。

### 3 北海道釧路市役所

- ・視察者 安藤和俊、中島慎一郎、堀越博文、米山真澄
- ・視察場所 北海道釧路市役所
- ・視察日時 令和6年5月24日(金) 午後1時30分～午後3時30分
- ・視察項目 公有資産マネジメントの推進について
- ・説明員 財政部 市有財産対策室 市有財産対策係 主査 本間勇気 氏

- ・視察目的

人口減少が著しく高齢化率も上がってきている中、公有施設の維持管理、増改築の費用がどの自治体でも嵩んできている。市民の利便性の向上とマネジメントについて先進的な取組について学ぶ。

- ・要旨(報告事項)

日本海溝沖の大地震による大津波の影響で、現在の想定最大死者数20万人とされる発表があった。マネジメントでは想定していなかった避難所などの建設が入ってきたことで優先順位が急変することもあるという。また複合化することにより施設が大型化し維持費が嵩みかつ、技術の向上やITの発展による生活様式の変化なども考慮するとそもそも必要のない施設が出てきてしまう可能性があり、大きいがゆえに使用しなくなる部屋などができた場合の管理が大変になるといふ。今後、変化の起こり得る業に関しては、現状を維持し世の中の動向を見守るといふことも大切であると学ぶ。

## 釧路市の概要

- ・平成 17 年 10 月 11 日に釧路市、阿寒町、音別町が合併。
- ・面積 1,363.29 km<sup>2</sup>（東松山市の約 20 倍）
- ・人口 159,073 人（東松山市の約 1.7 倍）
- ・特色 7～9 月の最高気温の平均が 22 度であることから夏には長期滞在地として選ばれており、阿寒摩周国立公園と釧路湿原国立公園の 2 つの国立公園がある自然豊かな地域。農業、林業、水産業の一次産業とそれに関連する食品加工業、製紙、石炭鉱業そして、高速道路網が釧路に延長されたことで物流、観光の伸展がもたらす波及効果が期待されている。

## 公共施設更新問題

- ・人口減少や人口構成の変化
  - ・経済成長、人口増加に合わせて整備した公共施設の老朽化
  - ・改修、更新費用の増大と集中
- が、全国的な問題となっている

## 公有資産マネジメント

1. 建物状況、利用状況、運用状況の把握
2. 総合的、戦略的、経済的な公共施設の見直し
  - ・施設の再編、集約化、多機能化
  - ・計画的な補修、更新と費用の平準化
  - ・管理運営方法の改善、民間施設の活用や民間化 等

## 基本的な 4 つの視点

1. 公共施設の効果的運用
  - ・人口減少とニーズの変化に対応した公共施設の集約化と縮減
  - ・民間活力の導入（民営化や民間主体の事業推進可能性を検討）
2. 公共施設等の利用活用
  - ・既存建物や余剰スペースの活用
  - ・休廃施設の処分
3. 公共施設の長寿命化
  - ・計画的な補修、改修、更新による費用の軽減と平準化
4. 管理運営費の効率化

- ・最適な管理と受益者負担の適正化

#### 過去に行った対策の実績

- ・釧路市緑ヶ丘貝塚ふれあいセンター
- ・釧路市共栄ふれあいセンター

#### 概要

放課後児童クラブを実施する児童センターと地域住民の集会施設を1つの建物にした施設

- ・視察結果・所感

同じ用途の施設を異なる場所に建設する際、基本設計と自主設計の2種類の設計費用がかかるが、基本設計を同じものにより2棟目は自主設計のみとコストの削減をすることができていた。当市としても長寿命化を図りながら施設の複合化等を検討し、市民の利便性の向上や将来かかる維持管理費の削減に取り組んでいくべきと感じた。